

心に残る文化財子供塾 活動の概要と様子 ～ 益田市立中西小学校 ～

1. 概要

10月14日(金)、益田市立中西小学校で『心に残る文化財子供塾』を開催しました。体験活動には白上古墳の見学を予定していたので、はじめに市内の古墳について、益田市教育委員会の職員から話を聞きました。市内に多くの古墳があることを知り、驚くとともに関心を寄せていました。

次に学校のすぐ側にある白上古墳の見学を行いました。古墳の横穴式石室に入り、石材をどうやって運んだのか考えました。また、墳丘の上にも登って古墳のかたちや大きさを観察しました。

次に、勾玉作り体験を行いました。軟らかい石材をヤスリで削るという慣れない作業に最初は戸惑っていましたが、次第に形ができあがり、みんなきれいな勾玉を仕上げることができました。機械のない時代にどうやって勾玉を作ることができたのかみんなで考えました。古墳時代の益田に勾玉で身を飾り、古墳に葬られた有力者がいたことに思いを巡らせました。

2. 様子

1) 益田市内の古墳について知る



「益田市にはいくつの古墳があるだろう？」

2) 白上古墳の見学



「どんな場所に古墳が造られているだろう？」



「石室に入ってみよう！どの石材が一番大きいかな？」

3) 勾玉作り体験



がんばって石を削ります

子ども塾を終えて

1) 児童の皆さんから…

- ・初めて古墳の中に入ったけど、思ったより広くてびっくりした。
- ・益田市に古墳がたくさんあるのを聞いて驚いた。
- ・益田市にある他の古墳のことも知りたくなった。
- ・勾玉をきれいに削っていく作業が楽しかった。
- ・昔の人は機械のない時代にどうやって勾玉を作ったのを知りたくなった。

2) 担任の先生から…

- ・古墳や出土品など本物の資料に触れることができた。
- ・地元にある古墳を知ることができた。

3) 埋文センターから

社会の授業で既に古墳時代について勉強していたことから、みなさん興味を持って話を聞いてくれました。また、益田市内や中西小周辺には古墳が多数分布していることを理解でき、地元の文化財・歴史にも関心が高い様子でした。

古墳見学では、学校の側にある白上古墳を訪れ、横穴式石室の中に入りました。石室が当時のまま残る様子を見て、どこから大きな石を運んだのかなど疑問がたくさん生じたようです。益田市にはまだまだたくさん古墳があることを知ると、他の古墳にも行ってみたいといった声もありました。

勾玉作り体験では、不慣れな作業に最初は戸惑っていましたが、最後にはオリジナルの勾玉を仕上げることができました。機械の無い時代にどうやって勾玉を作ったのか、みんなで思いを巡らせました。